

<報道発表資料>

令和7年10月27日
京都市建設局自転車政策推進室

「三都市放置自転車クリーンキャンペーン」の実施

近年、京都市をはじめとした京阪神地域の各都市における積極的な自転車政策の推進により、放置自転車は全体としては減少傾向にあります。

一方で、鉄道駅周辺や店舗前をはじめ、市内の一部では、未だに自転車が放置され、歩行者や車両の安全な通行を妨げ、都市の景観を損ねることなどが問題となっています。

この度、京都市、大阪市及び神戸市では、このような放置自転車を防止するため、京阪神の鉄道事業者と協同して、令和7年度の「三都市放置自転車クリーンキャンペーン」を実施します。

【キャンペーン概要】

● 期間

令和7年11月1日（土）～令和7年11月30日（日）

● 内容

- ・ 鉄道駅構内及び車内における啓発ポスターの掲出（デザインは裏面）
- ・ 鉄道駅構内及び車内における啓発放送の実施

● 協力鉄道事業者

京都市交通局、Osaka Metro、神戸市交通局、JR 西日本、京福、叡山、阪神、阪急、京阪、近鉄、南海、阪堺、神戸、山陽、神戸高速、神戸新交通（順不同）

● 後援

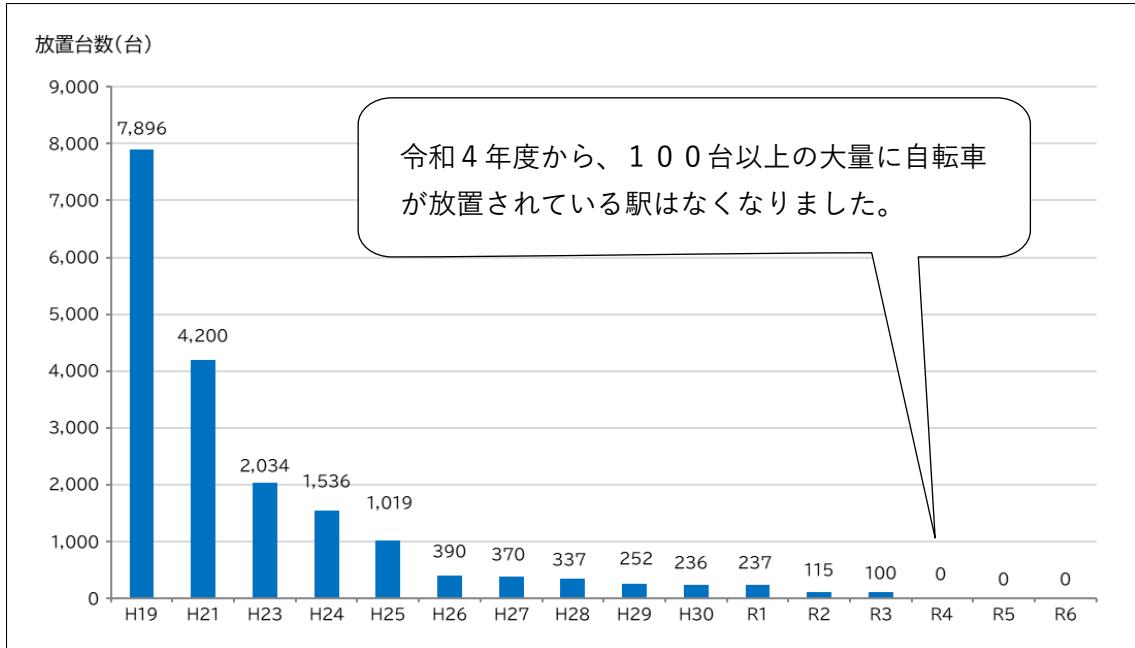
国土交通省近畿地方整備局

<お問合せ先>

京都市建設局自転車政策推進室

電話：075-222-3565

【参考 1】国土交通省調査に基づく京都市における各駅の自転車放置状況の推移



国土交通省調査（平成 27 年以前の奇数年は内閣府調査、偶数年は本市独自調査）

※ 10～11 月の晴天の平日、概ね午前 11 時時点において、市内各駅のうち 1 駅における放置自転車の台数が 100 台以上の駅を対象に放置台数を集計した値

【参考 2】啓発ポスター（B3 サイズ横）



ポスターデザイン：京都市立芸術大学 2 回生 西 智弘（総合デザイン基礎）